

農業後継者育成基金事業

平成30年度農業高校就農促進対策事業

事業主体名 鹿兒島県立曾於高等学校

1 目的

地域の農家や農業関連施設で、農業を体験することで農業技術や経営を学び、農業への関心や資質を高めます。また地域農業の実態を理解し就農への意欲が向上します。

地域の農業研究機関や関連施設を研修して、農産物の加工や流通について理解を深めます。

2 実施状況

(1) 勤労感謝祭の実施

曾於市農林振興課長様に、地域の農政について講話をいただき曾於市の農業について広く知ることができます。

また、日頃の学校の実習や授業の取組を黒豚肉のバーベキューやレクレーションを行うことで、農業の楽しさや苦労などを友達・先輩・後輩と時間を共有して、就農意欲向上につなげます。感謝の気持ちも大切にする時間となります。

生徒たちはこの学習活動の中で、日頃の授業の内容や実習の素晴らしさに気づき、また下級生は自分の進路について就農や農業関連産業への方向性を探っていきます。



(2) 明日に営農を語る会の実施

将来就農する生徒や農業関連産業に就職する3年生の生徒たちが、地域の関係機関の方々と将来について意見交換して、今後の農業や質問をとおして将来設計の一助になるよう語りあっていきます。また、関係機関の方々の励ましの言葉を聞くことで自分の進路の励みになっています。

1・2年生は、この意見交換や発表を聞くことで就農意欲や農業への関心が深まり、日頃の授業における学習に一層力が入ります。



3 今後の課題、取組

就農意欲が向上して生徒がより一層積極的に学習できるように、事業への取組を検討していき、関係機関と丁寧に連携した教育活動を活性化させるために、今後も地域の農業へ貢献できるような生徒を育てていけるよう取り組んでいきます。